



# 八小だより

在籍児童 183名(令和7年3月24日現在)

八王子市立第八小学校

教育目標&lt;目指す児童像&gt; かしこく ゆたかに たくましく みんなと生きる子

～子どもたちの未来を拓く学校～

## 未来を拓く

校長 高澤 善幸

今年、暖かいと寒いを繰り返す日が続きました。校庭の百年桜もようやくつぼみを膨らませ、花卉が開く気配が感じられるようになりました。本日、6年生は卒業式を迎えました。小学校を巣立ちゆく子どもたちに心よりお祝いを申し上げます。

昨年度、歩道の落ち葉を掃いているときに「自分たちにもやらせてほしい」と声をかけてきたのは、今の6年生でした。また、大雪の日に、「石川歩道橋」の雪かきをしていると、真っ先に声をかけてきたのも6年生でした。「やってみたい」「挑戦したい」という気持ちに溢れている素晴らしい6年生でした。年度当初、6年生は1年生の教室へお世話に行きました。教室をのぞいてみると、6月になっても1年生の教室で子どもたちとともに遊ぶ6年生の姿が見られました。1年生も6年生のお兄さん、お姉さんが大好きになりました。



その後も様々な場面で活躍する6年生の姿は、保護者・地域の皆さまにご覧いただいていたとおりです。体育学習発表会や音楽会といった学校行事を始め、委員会活動やクラブ活動、たてわり班活動では、運営の中心として、学校のリーダーとしての役割を務めてきました。まさに第八小学校の「レジェンド」として、その姿は、在校生の胸にも深く刻まれました。卒業を迎えるにあたり、一人ひとりの思い起こすことには違いがあります。楽しいことや嬉しいことばかりではなく、ひよっとするとやり残したことや後悔していることがあるかもしれません。けれど、それらすべてが、自分自身を作る「根」となります。卒業生一人ひとりがこの先の人生の中で枝を伸ばし、大きな花を咲かせることを期待しています。どうぞ第八小学校の卒業生として未来を拓く存在であり続けてください。

4月はもうすぐです。子どもたちは、小学校の児童から中学校の生徒へと成長の階段を一段上ります。これから始まる中学校生活に希望を抱き、前を向いて進んでいくことを職員一同願っています。そして、卒業生として、地域の一員として、第八小学校を見守ってくれることを期待しています。保護者の皆様におかれましては、これまでのお子様のご成長を振り返り、喜びもひとしおと存じます。子どもたちはたくましく成長していますが、まだまだ保護者の皆様のお力添えを必要とする場面もきっとあることと思います。今後とも、子どもたちに寄り添い、励ます存在としてお子さんを支え続けてください。小学校も間接的にはなりますが、子どもたちの成長をとともに見守ってまいります。これまで、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。

ご卒業おめでとうございました。

